



# ありだし社協だより

小学校6年生児童代表が  
毎号将来の夢を発信!

10年後、成長した姿を  
地域の皆さんに発信します!

箕島小学校6年生

## 「将来の夢」



次号は、港・初島小学校から「夢」発信!

社協だよりは、「赤い羽根共同募金」配分金と寄付つき商品事業「JUST」による寄付金の一部で発行させていただいています。

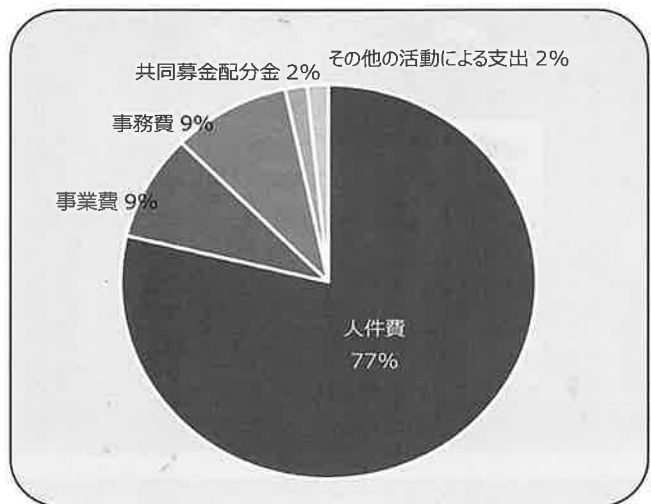
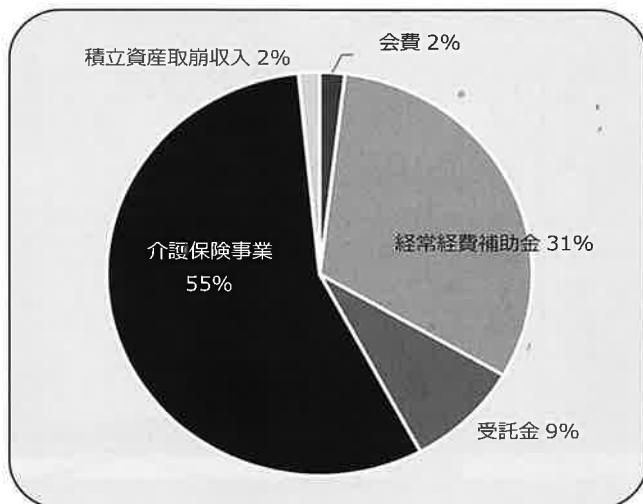
# 令和元年度 有田市社会福祉協議会 決算概要

## A 収入の内訳

	(単位：円)
会費	2,620,900
寄付金	872,754
経常経費補助金	43,073,858
受託金	11,994,904
貸付事業収入	2,000
事業収入	610,825
負担金	68,950
介護保険事業	77,134,235
受取利息配当金	8,043
その他の収入	197,466
基金積立資産取崩収入	1,062,237
積立資産取崩収入	2,169,100
合 計	139,815,272

## B 支出の内訳

	(単位：円)
人件費	105,956,814
事業費	11,714,860
事務費	12,370,654
共同募金配分金	2,271,767
助成金	19,000
負担金	456,300
その他の支出	389,960
固定資産取得支出	636,740
基金積立資産支出	1,205,898
積立資産支出	1,435,500
その他の活動による支出	2,200,930
合 計	138,658,423



※ グラフは どちらも2%以上の項目のみ表示

## C サービス区分ごとの内訳

サービス区分	収入決算額①	支出決算額②	収支差額③ = ① - ②
1 法人運営事業	40,941,815	40,941,815	0
2 ボランティア活動事業	284,705	284,705	0
3 心配ごと相談所事業	21,062	21,062	0
4 福祉サービス利用援助事業	7,052,795	7,132,186	-79,391
5 訪問入浴事業	2,980,214	2,395,747	584,467
6 居宅介護支援事業	12,451,219	11,828,138	623,081
7 通所介護事業	71,979,470	71,950,778	28,692
8 善意銀行・福祉基金事業	1,934,991	1,934,991	0
9 共同募金配分金事業	2,271,767	2,271,767	0
10 生活福祉資金貸付事業	146,000	146,000	0
11 生活支援体制整備事業	4,002,020	4,002,020	0
合 計	144,066,058	142,909,209	1,156,849

※ サービス区分間における内部取引額 4,250,786円 を含んでいます。

# 令和元年度 有田市社会福祉協議会 事業報告

## 【重点目標について】

### 1 福祉教育の充実

子どもたちが地域と関わることで、地域で暮らす人の生き方を学び、役割を知ることができるようなプログラムを実施し、学校を拠点とした福祉教育の実践に地域の多様な方の参画を得られるような取組を行いました。

また、箕島高校の課題研究授業を利用し、本会がコーディネートして地域課題へのヒアリングを実施し、ヒアリングを元に、生徒らが政策提言を考え「令和元年度 地域共創フォーラム」において、有田市長、地域住民に向かって発表を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催が中止となりました。



地域の高齢者宅訪問の様子  
(宮原小学校6年生)



箕島高校の課題研究授業の様子



モデル事業から  
「マモッチャクラブ」誕生

### 2 地域がつながる取り組みの推進

多世代共生の居場所「AGALA」において、月に1度、食を通じてのつながり作りや住民の地域活動の場として開催していた「AGALA 食堂」をリニューアルして、会場を箕島公民館に変更し、「カレーはうす」をプレオープンしましたが、現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を見合わせております。

また、市から、「生活支体制整備事業」を受託し、第2層生活支援コーディネーターを配置し、各地区での地域課題の把握に努めました。モデル地区として、初島地区の有志による「チーム六桜花」を結成し、高齢者のニーズ把握するための場作りや、港老人クラブでの地区内の1人暮らしの方で一定条件を満たす方を対象に月2回「見守り活動」の立ち上げ支援などを行いました。



「カレーはうす」プレオープン



初島地区「チーム六桜花」



港老人クラブ「見守り活動」

### 3 相談支援事業の充実・発展

毎月1回、地域福祉ネットワーク会議(有田市地域協働促進会議)において、地域の福祉課題、生活課題についての話し合いの場を持ち、令和元年度においては「災害時の事業所自助力強化と事業所間連携及び地域との協働の在り方」をテーマに、被災施設への視察研修や、事業所間避難訓練シェアリング等を実施しました。



被災地への視察研修



事業所間避難訓練  
シェアリング

新型コロナウイルス感染症の影響で、生活にお困りの方へ  
一時的な生活費の貸付制度のご相談・申請をお受けしています



申請締切  
7月末

情勢により締切等変更  
の可能性もあります。

新型コロナ感染症の影響で、これまで通りお仕事が出来なくなり、または失業し、収入が減った方が対象となります。

- ◆緊急小口資金：10万円(状況により最大20万円まで)
- ◆総合支援資金：月々15万円/単身・月々20万円/2人以上世帯(最大3か月間)

給付ではなく貸付制度となっています。必要書類や申請について、まずはお電話でご確認ください。

☎ 有田市社会福祉協議会 0737-88-2750

## 今年度の

「なごみ祭り・

ボランティアフェスティバル」

は中止します

新型コロナウイルス感染防止のために、2月より社会福祉協議会主催の各種事業の中止が続いています。地域の皆さま、関係の皆さまにはご理解いただきますようよろしくお願い致します。

例年7月に開催しておりました「なごみ祭り・ボランティアフェスティバル」につきましても、館内開催のため3密が予想されますので、中止とさせていただきます。

~~密閉・密集・密接~~



## 善意銀行だより

「社会福祉に役立てて下さい」と次の方々から総額364,551円(令和元年12月1日から令和2年5月末日現在まで)の善意のご寄付をいただきました。

### 社会福祉全般へ

- ・JXTGエネルギー労働組合和歌山支部
- ・Ganbaruman65 ・宮原小学校6年生
- ・河原貴博司法書士・行政書士事務所
- ・阪本・野上保険事務所株式会社
- ・初島幼稚園 こども達のクリスマス献金
- ・蓮華会 ・にこにこ会 ・橋爪 誠治

(順不同、敬称略)

以上の方々のほか匿名を希望される皆様からも預託をいただきました。

寄付金につきましては、地域福祉活動の推進に使用させていただきます。

ありがとうございました。

## 令和2年度 社会福祉協議会会費のお願い

本会の活動に対し、市民の皆様方からいただいております温かいご支援に対し厚くお礼申し上げます。社会福祉協議会は地域福祉を推進する団体です。地域住民を主体として、地域のいろいろな人や団体・組織等と一緒に考え、行動し、地域に暮らす誰もが「ふ」だんの「く」らしの「し」あわせを感じられる暮らしのために、さまざまな活動をしていく民間団体で、社会福祉法に基づき全国で設置されています。

本会は、福祉サービス利用援助事業をはじめ、心配ごと相談所事業、車いすの貸出事業などを実施しております。また、ふれあいと温もりのあるまちづくりのため、助け合い活動やボランティア活動を一層推進します。災害時においては災害ボランティアセンターの運営を行うため、事前のボランティア登録及び研修会も実施しております。

また、「第2次有田市地域福祉活動計画」を策定し、地域のつながりの希薄化、社会的孤立などの重点課題解決に向けて、「子どもたちがつなぐ未来への希望 福祉の種まきプロジェクト」や「支援ネットワークの強化事業」を実施し、全力をあげて取り組んでいるところです。

これらを支える資金として毎年市民の皆様方に御支援を賜っておりますが、本年度につきましても、8月よりご協力をお願い致します。





# ありだし社協だより

～夏のチャレンジ号～

- ★ 今年の  
サマーボランティアのススメ
- ★ 「育てよう！福祉の芽」  
小・中学生作文コンクール

## 今年のサマーボランティアのススメ

毎年、子どもたちをはじめ地域の皆さんにご提案しているサマーボランティア体験も、今年は新型コロナウイルスの感染防止のために、昨年までのメニューは実施できません。しかし、ボランティアは「やってみたい！」という気持ちがあればできます。人との距離をとるように言われているこの夏にできるボランティア活動をご案内します。

また、ボランティアでなくても、毎日の生活の中でちょっと心がけることで、誰かの気持ちを楽にすることや救いになることもあるかも知れません。まずは、自分の周りの方に行えることをしてみませんか？

ご近所の方に

あいさつしてみませんか？

「こんにちは」のひと言でも心が晴れる方もおられます。

暑いさけ  
気い  
つけてよ！



遠くに  
いる方に

遠く離れた友だちや身内の方に

電話をしたり、手紙を書いたり、今ならオンラインで顔を見て話すこともできるかも知れません。



地域の中で孤立してしまう方が出ないようにひとり一人ができることを探してみませんか？



### 他にも！例えば・ひとりでできるボランティアとして

#### ◆使用済み切手収集

届いた郵便物に貼られている切手の周りを、消印を含んで1cm程度の大きさにカットしたものを社会福祉協議会へお持ちください。

本会から和歌山県社会福祉協議会へお届けし、総重量が10kgになると、ボランティア活動の財源として活用されます。

#### ◆献血への協力

献血は、輸血を必要とする方に健康な方が出来るひとつのボランティアです。

【予定されている献血日程】お問合せは有田市保健センター 0737-82-3223

7月 8日	8月 5日	10月 7日	11月 4日
12月 2日	1月13日	2月10日	3月10日



※いずれも水曜日 10時～12時 / 13時～16時30分 オークワ箕島店

担当 宮本

お電話は  
(0737-)  
88-2750

有田市ボランティアセンターでは、活動に対するご相談や、地域の課題等への取組について、皆さんと一緒に考えさせていただき、お気軽にご相談ください。



# サマ-ボラ<sub>ンティア</sub>として参加されませんか？

## No.1 お手紙・絵手紙 応援大作戦 ほっこりお届け隊大募集！

ず～っと  
面会できずにいる方へ



入所・入院中で長期間面会が制限されている方に、子どもたちや地域の皆さんから、「ほっこり」できるお手紙や絵手紙を募集し、感染防止の観点から社会福祉協議会から各施設・病院あてお届けしたいと思います。

### 【参加対象】

有田市内の子どもから大人まで 趣旨に賛同してくださる方ならどなたでもご参加可能です。

### 【参加方法】

- ①ご自宅で自由に絵を描いたり、お手紙を書き(折り紙なども)次の住所まで郵送またはお持ちください。
- ②用紙や画材等の指定はありませんが、高齢者が見やすい配慮をいただくと幸いです。
- ③ペンネーム可、今後入所者等からの礼状やお手紙のやりとりを希望される場合は、住所氏名をお書きください(但し、必ず返事があるものではありませんので予めご了承ください)。

### ★郵送・提出先

〒649-0432 有田市宮原町東215 有田市社会福祉協議会 ほっこりお届け隊係

- ④本会からweb上で公開します(お名前は加工処理致します)。

既に公開している作品は本会公式ホームページでご覧いただけます。

### 【施設等へのお届け方法】

毎月15日・月末までに到着した分を本会から市内13の施設・病院にお届けします。



## No.2 防災パッキングクッキング チャレンジ写真大募集！

子どもたちは  
大人の方と一緒にチャレンジしてね

楽しみながら、災害時にできる調理方法を体験してみてください！

次のレシピと作り方を参考に作ったものや、ご自身なりのアレンジ作品をお写真に撮ってメールで送ってください。後日Web上でご紹介していきます。

調理の前は  
きちんと「30秒手洗い」



こちらのサイトで、他にも「パッキングクッキング」のレシピが紹介されています。

### ★ココアケーキ★ (参照 魚沼市役所ホームページ 食まちうおぬま 食まちレシピより)

必要なもの：カセットコンロ・ボンベ・鍋・ポリ袋・水

材料(1人分)：ホットケーキミックス1/2カップ(50g)・ココア スプーン1杯(4g)・牛乳 大さじ3

レシピ：1. 材料をポリ袋に入れて、ひとまとまりになるようによく混ぜ、袋に空気を入れて口を結ぶ  
2. 沸騰した鍋に入れて約20分加熱し、取り出す。

### 【応募方法】 締切8月31日(月)

写真を貼付の上、お名前、年齢を記入して次のアドレスに送信してください。

送信先 [aridacityvc@gmail.com](mailto:aridacityvc@gmail.com)



### 募集期間 (今年は期間延長しています)

令和2年11月30日(月)までに、各学校から有田市社会福祉協議会へ提出してください。

### 発表

令和3年1月下旬 学校をとおして受賞者に通知  
令和3年3月上旬 『社協だより』紙面にて発表

### 賞品

優秀賞(各部門で1作品ずつ)

賞状と副賞「こども商品券」5,000円分

※現在は未定ですが、状況により、受賞者には朗読発表をしていただくことがあります。

【詳しくは、各小中学校で配付される「応募要項」をご確認ください】

## 第8回

## 「育てよう！福祉の芽」

## 小・中学生作文コンクール

### ★テーマ

- 「新型コロナウイルス感染症」で感じたこと、考えたこと
- 家族や地域について思うこと

今年だから感じたことがたくさんあるはず。思いを言葉に残しましょう！